



福島在住で第十五回卒業、
 改めてご冥福をお祈り致します。
 昨年、関東支部総会で、

中京支部同窓生の皆様には、ご健勝でお暮らしのことと存じます。昨年、会長就任挨拶をする予定でしたが、総会直前に体調を崩し、恥ずかしい話ですが病院のベッドの中でした。ポニージャックス「玉田」殿を迎えての記念総会、楽しみにしていただけにとっても残念でした。

改めまして、十四回卒業の荒木でございます。歴代の会長さんは、任期中に大きな足跡を残されてこられました。私に、この大任を全う出来るとも思っていないません。幸い心やさしい幹事の方が「心配するな。全員で後押しするから。」とのことで、役員総会で推挙されお引き受けいたしました。引き受けた以上、三十年の輝かしい歴史のある中京支部を盛り上げるために精一杯頑張ろうと思っております。どうぞ、宜しくお願い致します。

ご挨拶

中京支部会長 荒木 啓治朗



発行 天草高等学校
同窓会中京支部

編集・印刷
同窓会事務局

「松尾弘美」さんの、
 避難生活で、先行き
 不安と精神的な疲労
 状況のご報告をお聞

きた時、涙は出ても言葉は出ませんでした。本
 当に一日も早い復旧・復興が望まれます。

さて、本年は良い年になるかと思いきや、中京
 支部のエンターテイナーで、ピアノ・エレクトロ
 ンで気品の高い演奏で会を盛り上げて頂いた「原
 田照明」幹事長が急逝されました。次期中京支
 部を背負っていかれる方だっただけに、役員一同
 大変落胆致しました。本日ご臨席の皆様と故人の
 ご冥福をお祈りしたいと思います。

本部同窓会をはじめ、各支部とも会員の高齢化
 が進んでいます。当面は、現在の参加者は維持で
 きると考えていますが、今一度、皆様の会員掘り
 起こしの頑張りを期待致します。合わせて、中京
 支部の宝であります「なでしこ高女」の皆様の益々
 のご清栄をご祈念致します。

第三十一回総会は、六月十日開催致します。今
 回のイベントは、教育者で登山家の「光岡守士」氏
 の講演です。「十代田」教授と日本体育大学の同窓
 生であります。テーマは「山の神秘に魅せられ
 て」です。大変楽しくなる お話が聞けると思
 います。

本日は、一回／年の名古屋天高祭りです。最後
 まで語り、飲んで楽しい一日に致しましょう。そ
 して、来年の再開を約束してご挨拶と致します。

講師紹介：みつおかもりし 光岡守士 氏 『山の神秘に魅せられて』

光岡氏は愛知県豊田市出身で地元の小・中・高を卒業し、昭和39年3月日本体育大学を卒業された。卒業後は愛知県立高等学校教諭として38年間にわたり奉職されました。

教員生活では、高校ラグビー部監督として生徒指導に情熱を注がれ、高校ラグビー界の名監督として名声を馳せられた。ラグビーの合宿地として有名な長野県の菅平に、生徒の合宿研修の館として部員全員が宿泊できるログハウスを建設し「常に生徒と共に生きる」を信条とする彼の熱血指導は、ラグビー界でも有名である。現在も愛知県ラグビー協会の役員として活躍されている。

退職後は雪山への美の追求が、日本の山に飽き足らず世界の山に挑戦することになり、2002年カナディアンロッキー・トレッキング40日間に挑戦し、世界 No. 1のエベレストに夢を抱き2006年以降7回にわたり延べ220日間「山の神秘に魅せられて」挑戦し、今なおネパールの人々との交流に魅かれながら5000mの自然に自分の身をおくことの神秘に今までにないものを体感していると云う。70歳の青春を謳歌している。

(日体大同級生：天高12回卒 十代田 光俊)

ごあいさつ

熊本県立天草高等学校校長 橋本 和夫

同窓会中京支部におかれましては、この一年間物心両面に渡り、御支援御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成二十三年度の卒業生二百六十二名は、校訓「正大・剛健・寛厚」を胸に、大きな希望と夢を抱いて、この学舎を巣立って行きました。

この年度の卒業生は、まさしく文武両道で頑張ってくれました。運動部では、あの夏のインターハイで、男子ソフトボール部が全国三位の荣誉に輝きましたし、文化部では、吹奏楽部が県の吹奏楽コンクールで、十六年振りの金賞を獲得しました。

学習面では、熊本大学医学部医学科に現役合格するなど、着実な成果を出しつつあります。

時代の波に打ち克つていく卒業生のために、次の三つのことをお願いしました。①広い視野を持ち、社会に貢献できる人であれ②夢に向かって挑戦する人であれ③郷土『天草』を愛し、祖国『日本』を誇れる人であれ。



(年、一月十六日からの修学旅行は、飛騨高山へのスキー合宿「宝生閣」でした。)

これからの、同窓会中京支部の益々の御発展をお祈りいたします。

中京支部第三十一回総会に寄せて

関西支部会長 葦原 設二

昨年からのこの一年間は、東日本大震災に始まり、それによる福島第二原発事故、昨夏の近畿(和歌山・奈良・三重)を襲った大水害と自然大災害に見舞われた悲惨な年でした。

中京支部におかれましては、昨年創立三十年を終わられ、又、これから新たな総会へと進んで行かれますことに敬意を表し、心からお祝い申し上げます。

(故郷は遠くにありて想うもの)と云いますが、報道を見る度、今まさに、強く感じる今日この頃であります。そこには、同郷の仲間がいてこそ思うことかも知れません。

毎年、私たちも高齢化してまいります、故郷の同窓で学んだ仲間達との集まりは続けていかなくはなりませんし、特に、中京支部は歴史のある家族的な楽しい雰囲気の中で、アトラクション等がすばらしいです。どこの支部でもこれから人集めも大変になってまいります、若い後輩達へ引き継いでいくことも真剣に考えていかななくてはなりません。

どうか、一人一人の皆さんが、一人でも多くの皆さんを誘いあつて、元気を確かめる盛大な中京支部総会になりますよう、皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。

ご挨拶

関東支部会長 松尾和幸

天高同窓会中京支部の皆様、初めてご挨拶申し上げます。平成二十三年十月二十三日「関東あまたか会」の総会におきまして、第三期六年間会長を務めました平田俊清先輩(十回生)が勇退され、第九代会長を拝命しました松尾和幸と申します。よろしくお願い申し上げます。天高十六回(昭和三十九年卒業)で、峇北町富岡出身です。高校卒業後は、防衛大学校へ入校し、陸上自衛官として四十五年間勤務しました。熊本の総監部で勤務中に、雲仙普賢岳災害派遣及び風倒木災害派遣に出動しました。阪神・淡路大震災の時は東京から神戸市東灘区へ災害派遣に出動しました。その時のことは今でも克明に覚えております。災害派遣に出動する度に、自然の力は絶大で、人間の力は小さい。皆で力を合わせないといけないと思いつつ、い続けています。

私の自己紹介に終わりましたことをお詫び申し上げます。中京支部の今後のご発展をお祈り申し上げます。

中京支部同窓会のご案内を頂き有り難うございます。申し訳ございませんが、私松尾は出席できないことをお許し下さい。関東あまたか会の会長代理として幹事長の原田幸徳(十四回生)を出席させていただきます。原田幸徳は、中京支部 荒木啓治朗会長とご同期ですので、お話が弾むことと思います。今後とも、宜しくお願いいたします。草々

三十周年を終えて
“ニョロニョロ うなぎで 乾杯”

野島 道枝

去る六月十二日、天草高等学校同窓会中京支部会は、三十周年総会を無事に終えた。奇しくも、我が同僚の金子至氏が会長に就任した体調の悪いのを押しての二年間であり、奥さま共々、大変心配な現状であったにも拘らず、金子さんは、最後まで立派に成し遂げた。

十三回生、皆は、出来る限りの協力で支えあった。終わった時には、心底ホッとした。

二次会の時、金子会長の慰労会を十三回生でやろうと即決した。浜松在住の同級生の骨折りで、七月十七日に浜松名物のうなぎで乾杯することになり、当日十一時に弁天島駅に集合し、炎天下の浜名湖ガーデンパークを皆で散策した。

ありとあらゆる木々や花々に驚き、歓喜の声をあげて目を見張った。熱中症予防に、帽子・日傘・飲み物を片手に、広い広い公園をぐるりと歩いた。汗が、顔・体中から流れ落ちた。こんなに汗かいて歩いたのは久しぶりなこと

あった。それでも、皆「うなぎが待っている」と、痛い足腰にむち打って、花に誘われて歩いた。

午後二時、最寄りの料亭で、「うなぎ」で乾杯し、金子さんが立派にやりとげてくれたことを称賛しねぎらった。ビール・うなぎの美味しかったこと、この上無しである。

そして、比の十三回生の集いがなんと楽しかったこと。今後も、ずーっと付き合っていく仲間である。その証拠に、秋に又会おうと決まった。

仲間も居て、どこへ決まるか。次の逢瀬に夢馳せて、親睦をより深めていきたい。

※天高卒 未来永劫 座 輝 やき



平成24年度 中京支部 役員幹部紹介

名誉会長	会長	副会長	副会長	事務局書記
金子 泰孝 (高1回)	荒木 啓治朗 (高14回)	吉永 輝男 (高12回)	原田 登 (高12回)	吉田 和美 (高17回)

熊本県内初の「みなとオアシス」誕生！
みなとオアシス 天草牛深

「みなとオアシス牛深」は、牛深の伝統芸能ハイヤ節、温暖な気候、新鮮な海の幸、海洋景観を活かした元気なみなとまちの創出をコンセプトとし、いろいろな活動を通じてみなとまちづくりを推進し、地域振興や観光客誘致につなげることを目的としています。

社団法人 天草宝島観光協会
 〒863-0023 熊本県天草市中央新町 15-7
 TEL 0969-22-2243 www.t-island.jp

Human Comfort
 人と街をむすぶ、おもてなし。

● ご婚礼 ● ご宴集会
 ● ご宿泊 ● レストラン

同窓会・クラス会にもご利用ください。

HOTEL, BANQUET & RESTAURANT
Gp ホテル **名古屋カーテンパレス**
 〒460-0003 名古屋市中区錦 3-11-13 TEL 052-957-1022
 FAX 052-957-1723 http://hotelgp-nagoya.com

原田 照明様(高二十)を偲んで
吉田 和美(高十七)

原田照明様とは、名古屋市音楽研究会で一緒に活動させていただいておりました。中京支部会、お互いに天高同窓生であることがわかり、奥様・おじようさまとも親しくさせていただきました。中京支部第二十八回大会(平方良介会長)のときに、「よかよかトーンズ」を照明様、おじようさま、井戸武洋様(十六回)、私の4人で結成し、歌や演奏を会の皆様に喜んでいただきました。第三十回記念大会(金子泰孝大会実行委員長・金子至会長)の時に、ボニー・ジャックス・リーダー玉田元康様(五回)の伴奏を照明様と担当させていただきました。照明様は教職時代、教え子の中学生達をNHK全国合唱コンクールに出場させる快挙をされ、名古屋市の優良教員にも選ばれました。

一方、伝書鳩をレースで入賞させるといふ見事な功績も残されました。

その原田照明様がお病気で、まっ白い雪が積もった二月一日、六十二歳の生涯を閉じられました。お通夜での照明様のご遺影は、お名前の通り明るい笑顔で、私たちを見ておられました。

原田照明様のすばらしい歌声と演奏と穏やかなお人柄は、いつまでも私たちの心に生き続けておられます。

合唱



「創立30周年記念大会」記録より



天高同窓会「函南会」

寛 剛 正
厚 健 大

熊本県立入草高等学校同窓会

お問い合わせは同窓会事務局まで

〒869-0003
熊本県天草市本渡町本渡5E7番地
TEL/FAX: 0969-24-3533(何時でも可)
開館日: 毎週火曜日(10:00~18:00)
Eメール: tonankai@spice.ocn.ne.jp
ホームページ: http://www4.ocn.ne.jp/~tonanka/



Pâtisserie
Petit Amande

2-45 DAICHISHINMACHI
IWAKURA AICHI
TEL 0587-66-7021
www.petit-amande.com

天草発、郷土の翼。
天草エアライン

福岡・熊本空港から「ひとつ飛び」で帰省しませんか?
帰省の予定が決まったら早めの予約がお得です!

熊本~天草間(片道)
割引運賃¥5,500~

福岡~天草間(片道)
割引運賃¥11,000~

ご予約・ご案内 天草エアライン予約センター
受付時間 9:00~18:00
☎0570-064-802
☎0969-34-1515
http://www.amx.co.jp

AMX AMAKUSA AIRLINES

十代田先生の

愛知県教育表彰・体育功労賞を祝して

松田 信孝(高十六)

平成二十三年十一月十一日の朝刊に、十代田光俊先生が、愛知県教育表彰・体育功労賞を授与される記事が掲載されていました。先生は、小生にとつての大学の先輩でもあり、兄弟以上の関係で、高等学校赴任以後も、公私ともにお世話になっており、記事を読んだ大きな喜びと感激に包まれました。

この「体育功労賞」とは、愛知県内で体育・スポーツに携わっている人々の中で、特に、功績の有った指導者が受賞する権威のある賞です。これまでの四十八年間の先生の実績を鑑みれば、当然の結果だと納得でき、心から「おめでとうございませう」と申しあげます。

ここに、先生の業績と人柄を紹介します。
一、高校教諭時代には、体操部顧問として、全国大会一位と三位の選手を育成されている。

二、大学教授時代には、ゴルフ部顧問として、全国大学選手権団体優勝や

多くのプロゴルファーを育成されている。

三、社会活動では、長年に亘り、愛知県体操協会の理事長や東海体操協会理事長・会長を歴任され、体操や新体操の国際大会運営委員長として尽力されている。

四、先生は、人望が厚く、どんな役職もお引き受けになり、労を惜しまないところが多くの方から信頼されている。



このように、スポーツの分野で活躍され、かつ協会役員を歴任されたことが受賞の理由だと思えます。今後は、是非とも、体育・スポーツ功労者としての、国の叙勲を受けられるよう切に願っております。



白樺湖畔に広がる県下最大級の一大リゾート

- ファミリーランド
- 霧ヶ峰ビナス
- 美術館
- スポーツワールド

代表取締役社長 **矢島 三人**
 専務取締役 **矢島 静子**(天草市下浦出身)
 〒391-0392 長野県茅野市白樺湖 TEL:0266-68-2100
 FAX:0267-55-6369

池の平ホテル URL <http://www.ikenotaira-hotel.co.jp/>



池の平ホテルグループ



一大露天風呂

1200坪の大自然園に広がる
100畳の大露天風呂

ホテル全景

ご挨拶

同窓会本部長 海江田 雅靖(高八)

今日も鶯が綺麗な声で鳴いていました。あの声を聞いていると心が洗われたような気がします。皆さんの故郷・天草は平穏な日が続いています。

中京支部におかれましては、昨年、結成三十年の節目を迎えられ、今年から、又、新しい支部活動を始められたと思います。私も昨年出席し、楽しい一日を過ごさせていただき、誠に有り難うございました。趣向を凝らした総会を開催され、会員の皆さんの親睦を図られていることに敬意を表する次第です。

私達同窓会も会員相互の交誼こうぎを願うことを目的に掲げています。会員相互の連絡を密にし、親睦を図るためには、会員名簿の充実が重要になります。今年も諸般の事情はありますが、会員名簿を発行することと致しました。経過等については会報「凶南」でお知らせしますので、皆さんのご理解とご協力をお願い致します。

中京支部会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、私の挨拶とします。

◇事務局長

…松下 正志 (高十八)

◆事務局

…寺崎成彦 (高十八)



天草の民話「四匹の大蛇」

天草下島には四つの大池があり、それぞれに民話が残されています。四つの大池は、「富岡の袋池・男」「杵宇土道目木の池尾池・女」「大江須賀平田のお方が池・女」「牛深魚貫の池田池・男」です。

牛深魚貫の池田池には、男の大蛇が住んでいて、山を越えて大江のお方が池の女大蛇の元の毎夜通ったそうである。途中の鋭い岩角で腹をすりむくので血が流れ、その血が池に流れ込んだため、ハスの根(蓮根)が食べられなくなると伝えられています。大蛇の化身が人間の若衆に化けた姿を、村人に言いふらした池田部落の男はめくらになり、妻は気が狂い、二人の子どもも「かたわ者」となり、ついに四人とも死んでしまったということです。

一方、大江のお方が池は、昔、ここで大船を作っていたのですが、海に出す際、びくとも動かなくなり船大工達は「どがんしよか」と悩みます。そこで、頭が「おつが、娘ば人柱に立つつぞ」ということで、村一番の器量良しであった、娘の おまん が人柱に立つことになったのです。造船場のある池に穴を掘り、柱にくぐられたままの おまん が、足を伸ばしたまま埋められました。すると、みるみる汐が溢れ、大船は海に繰り出すことができたのです。この おまん の魂が池に鎮まり大蛇となったということです。

池田池の男大蛇は、暴風雨に紛れて、大江小町のおまんのものに足しげく通いましたが、大蛇の通った後は植えた稲の苗もさつまいもの畑も、みんな沼のようにどろ

どろに流されて作物ができなくなり、飢饉が続いたのです。ある日、高僧が池田を訪れた際、「日輪様のお力を借りて、大蛇の道を断ち切るしかない」ということで、南無阿弥陀仏を刻んだ日輪を唐千田に「切石様」として建立し被害はなくなりました。しかし、翌年から、海に異変が起ころり始まりました。「こがんことはなかつた。池田ん大蛇が遠見岳の沖は通って大江に行くところか」と噂し始めました。漁師たちは、長山の浦に日輪を刻み、これを三日月瀬と呼ぶようになりました。これ以降、男大蛇は、池田池に封じ込められることになりました。ただ、女やもめとなった「池尾池」の女大蛇が、子大蛇を引き連れて、「池田池」に引越し男大蛇と末永く暮らしたそうです。

井戸選定1974「日本の民話 長崎・天草編ほるぶ出版」より福田編集



(どちらの池も、一七九二年五月二十一の「雲仙眉山崩壊II島原大変肥後迷惑」による巨大津波により押し寄せた海底レキでせき止められた、塩水池とも考えられています。)

中京支部創立三十周年

記念大会を終えて

金子泰孝(高一)

昨年六月十二日中京支部三十周年記念大会が開催されました。記念イベントには、ポニージャックスの玉田氏(高五)に出演頂き、その歌声に一同魅了され感動に満ちた大会でした。会場に溢れた緊張感と高揚感に、ふと支部創立時の雰囲気似たものを感じ、初心に帰ったような気がしました。

大会後、多くの方からお手紙を頂きました。紙面の都合で一部(抜粋)ながら、当日の皆さんの感想を紹介し、大会の報告に代えたいと思います。



玉田氏より

先日は大変お世話になりました。その上、早速懇切なご書状と当日の写真恐縮致しております。

三十周年の記念すべき大会にお呼びいただき、果たして少しはお役に立てたのか心もとない気がしております。ですが、ご書状の過分の賛辞、単純な男ゆえ額面通りに受け止め少しは安堵しております。

吉田さん・原田さんには多忙な中、練習を重ねて頂き、当日、つたない歌を盛り立てて下さったこと感謝しております。

金子様のお計らいで、天五回生と同席させて頂き、懐かしい話に華が咲きました。新旧会長様始め、皆々様にどうぞよろしくお伝え下さい。ありがとうございました。

中京支部会員の方々

三十周年記念の支部総会では、お世話をお掛けしました。節目の大会として、玉田氏をお招きして盛会の内に終了できましたのは、偏に金子先輩のご尽力の賜物と深く感謝しております。故松田先輩とともに中心メンバーとして中京支部を立ち上げて頂き、以来、三十年間、毎年欠かさず開催され、まさに歴史が創られてきました。中京支部の末席を汚した一人として感慨無量なものがあります。改めてお礼申し上げます。

(高九)

本日は、三十周年記念写真有り難う御座いました。当日のこと、改めて楽しく思い出しています。実行委員長としての役目、立派に果たされさすがと敬服いたします。天国で松田様や弟(金子泰彦氏)も「さすがやるじゃないか・・・」と噂をしていることでしょう。

(高女)

この度の三十周年記念大会は立派な大会でした。一流歌手の歌を近くで聞けるチャンスはめったになく、良い機会を作って下さり、幸せな一日を過ごさせて頂きました。予算が少ない中で総括者として大変ご苦労されたことでしょうか。お疲れ様でした。

(高十三)

早いものですね。創立三十周年。毎年楽しみにして出席してきました。今回は特に、普段聞けないポニージャックス玉田さんの素晴らしい歌を聞くことが出来、楽しく素晴らしい同窓会でした。倉敷に転居し、少々遠くなりましたが、これからも出来るだけ出席したいと思っ

おります。

(高九)

玉田さんの素晴らしい歌に魅せられ、未だにその余韻に浸っています。当日の写真を見て、あの日の感動を思い出しながら、合唱した「赤とんぼ」を口ずさんでいます。

(高十五)

三十周年大会のイベントで玉田様の「歌でふれあった半世紀」は、記念大会にふさわしいもので、我々同窓の記憶に残り、また、今後の励みになります。お盆には帰省の予定です。頂いた写真を、天高の玉田様と同級生の姉に見せようと思います。喜ぶと思

(高十三)

実行委員会の方々の長期に亘る綿密な事前準備と当日の見事な連携により、大変素晴らしいステージをつくって頂いたこと深く感謝しています。この中京支部創立三十周年記念大会は、会員に深い感銘を与え、印象に残る大会でした。まさに「中京支部の新しい一ページ」を作って頂いたと思っています。

(高十二)

記念大会は感無量でした。友達にも盛大な同窓会だったと自慢できます。玉田さんの歌を聞き、何だか命が延びた様な気持ちがありました。天草の同級生の方々にも中京支部のこと、お便りしました。(高女)

この度は、創立三十周年の写真ありがとうございました。久しぶりに皆様にお会いして元気を頂きました。名古屋時代は小生にとりましても思い出多いものがあり、中京支部の毎年の大会もその一つです。また、いつか、お伺いしたいと思います。

(天草在住 高五)

「欠席者の言葉」

小浦 堅一郎さん(中三十二) 残念ながら出席できません。盛会をお祈りします。

川崎 伸明さん(中三十五) 出席できませんが皆様のご健康と中京支部の発展と成功を祈ります。

矢島 静子さん(高女二十九) 老体になり欠席です。申し訳ありませんが皆様によりしく。ご盛会をお祈りします。坂本 忠男(併一) 毎年六月九、十日は弁天祭り(天王祭り)です。残念ながら...です。

佐藤 守さん(高一) 高齢になり、足腰不自由となりましたので残念乍ら欠席させていただきます。当日のご盛会をお祈り申し上げます。

宮崎 美達さん(高一) 脳梗塞で入院と退院をくりかえしています。

金澤 孝一さん(高一) 体調不良の故、欠席します。皆様によりしく。

上川 規子さん(高三) 病気で寝たきりになってしまいましたので申し訳ありませんが欠席致します。みなさんによりしく。

梶田 恵光さん(高六) 職業柄(土)(日)は体が空いていません。出たい気持ちはいっぱいですが...。

岡崎 睦朗さん(定七) 体調不良のため欠席です。永い間お世話になりました。これにて支部会より脱会届とします。

前田 幸保さん(高九) 申し訳ありません。欠席です。

清水 恵子さん(高十一) 皆様お元気でいらっしやいますか。毎日があまりに早くすぎてしまつて驚きます。どうぞ楽しい会でありますよう！

白木 真弓美さん(高十二) 体調不良のため申し訳ありません。皆様によりしく。

井上 敏子(高十三) 皆様にはご無沙汰いたしていただきますが六月十日には熊本へ兄の三回忌で帰つていただきますので欠席いたします。

横山 憲子さん(高十三) 今回はちようど東京行きと重なり出席できなくなりました。来年を楽しみにしております。

下世 稔子さん(高十四) いつもいつも欠席で申し訳ございません。ご苦勞様です。又お会い出来ませす日を楽しみにしております。

加藤 邦子さん(高十五) 事務局の方には色々ご案内のお便りなどお世話様です。今年尾張旭市で民謡の発表会がありますのでそちらに出席させていただきます。

鈴谷 政城さん(高十五) 今年は妻の同窓会といっしょになり、行かせたい(別の会)と思つておりますのでよろしく願ひします。

原田 俊郎さん(高十六) 日程が調整できず欠席します。申し訳ありません。

池崎 英輔さん(高十六) 私用がありますので欠席いたします。

佐野木 良一さん(高十七) 田舎暮らしで「炭やき」野菜作りに挑戦しています。同窓会に出席できませんのでご案内しないでください。

恒川 文代さん(高十七) 昨秋は五年ぶりに天草へ帰郷しました。同窓会には家事都合により欠席させていただきます。

辻田 一成さん(高十九) いつもご案内頂きながら出席できず申し訳ありません。

今野 澄香さん(高二十二) いつもお世話して頂きありがとうございます。

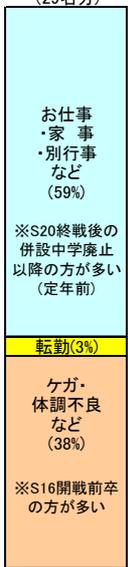
田口 功さん(S四十五年卒) 北海道に異動がありまして帰る機会がありません。残念ではあります。田中 美千代さん(高二十三) 仕事のため出席できません。

波多野 寛さん(高二十三) 大変お世話になります。今年も出席できませんが、来年こそは出席したいと思つています。腰を直して体を鍛えて出直します。

神原 時子さん(高二十四) 毎年連絡をいただきながら申し訳ないのですが、他に予定が入つていきますので欠席させていただきます。皆様によりしくお伝えください。

金子 洋子さん(高三十八回) いつもご案内いただきありがとうございます。子育ても終わり、五十歳を目前にして、主人と一緒に仕事をしたくなりこの春からはり・灸・マッサージの専門学校へ通つていきます！

欠席の連絡を受けた方の分類 (29名分)





三十周年実行委員長
金子 泰孝 様



関東支部 松尾 和幸会長殿



関西支部 葦原 設二会長殿



橋本 和夫校長殿

ご寄稿ありがとうございました。

年会費納入のお礼

第三十回総会の昨年は、総勢七十八名の方から年会費をいただきました。(参加者五十九名、欠席者十九名)ありがとうございました。

本来ならばお一人おひとりにお礼の言葉を申し上げるべきところですが、会報誌の紙面を借りまして役員一同御礼を申し上げます。中京支部の運営をより円滑にするためにも、尚一層のご協力をおねがいします。

☆広く皆様からの投稿を募ります☆

ふと参加されていない方からの寄稿文が掲載されていないことがありました。諸々の事情で参加されていないだけで「天草のこころ」をお持ちなのは誰でも同じです。忘れかけていたあの人とのつながりや、「そんなことやってるの」など新しい発見につながるかもしれません。学年同窓会や家族の話題、会に対するご意見など年中受け付けますので、左記へお寄せください。

宛先：中京支部会事務局 原田登
TEL：〇五六八・八三・二二九四
FAX：TELと同じ



「創立30周年記念 玉田さんを囲んで」

訃報

原田照明 様 (支部会幹事長 事務局次長 高二十回卒 愛知県瀬戸市在住)

二〇一二年二月一日 六二才で永眠されました。

毎年懇親会の場で、特に音楽の方で雰囲気を出してくださるなど当支部のために多大な貢献をいただきました。

此処に謹んで哀悼の意を表します。



編集後記

このたび飛翔第十四号を発行することができました。

今回は、レイアウト、印刷、製本の外部委託を改めまして、寄稿の願いから製本まで文字どおり手作りで作成させました。国のすべてが縮小していく傾向にあつて、世情に即応したことをやれたかな?という思いです。

この原動力は役員幹事の福田さん(高二八回卒)の存在なしではできなかったことをお伝えします。同時に編集スタッフ、記事をお寄せいただいた方々、母校の先生方他多くの方々からお礼を申し上げて編集後記いたします。

事務局長原田 登



高17 かずみ

飛翔 しろうくん